

講習会（研修会）での心得

令和6年5月1日改定版
（一社）愛知県弓道連盟 講習会事業

講習会は日ごろ修練していることが正しいかを確認する場です。受講に際しては以下のことを守り、弓道を志す者として、講師の先生や他の受講者に失礼のないように心掛けましょう。

*弓道は礼に始まり、礼に終わる … 道場への入退場時は、必ず「一礼」を行いましょう。

- ◎集合
 - ・弓具の準備、受付、着替え、場合によっては介添え等（幹事長・準備体操・先唱者）の役が当たることや、渋滞なども考慮して会場へは余裕を持って出掛けましょう。
 - ・準備体操、開会式の10～15分前には教本等を持って自主的に整列する。
（コート、上着、羽織は脱いで）
 - ・高段者が1番の場合は左側（的側）から、低段者が1番の場合は右側から並ぶを基本に。
（欠席者がある場合は空ける）
 - ・休憩後の集合は、開始5分前には準備を完了しておく。
- ◎矢渡し
 - ・射手は誠を尽くし行射します。受講者も礼を尽くし見取り稽古をすること。
（腕組み、安座、壁に寄り掛かったり私語は慎む）
 - ・矢渡し中、最前列の教本等は目立たないように配慮する。
 - ・防寒用の上着は、寒さを感じる人は羽織っても良い。（講習中も同じ）
（但し、マフラーや耳当て、等は避けましょう）

※介添えを指名されたら

- ・射手の先生の到着を待ち、第一・第二介添え揃って挨拶に行く。
- ・第一介添えは射手の替弓を所定の場所に置き、武射系か礼射系かの確認をする。
- ・第一介添えは全てを把握し確認しておくこと。
（射手の着装・時計・弓・弾・襷・胸当て等、第二の着装、草履や矢立等）
- ・第二介添えは塚の矢立と矢拭きの懐紙、草履の準備確認をする。
- ・射手と打合せ、位置取りの確認をする。
- ・介添え同士の打ち合わせは速やかに。（ダラダラとやらない）
- ・射手を待つ間にお互いの着装を確認、私語は慎む。（揃ったら射手の着装を再確認）
- ・矢渡しが終わり、講師より講評を受けた後、第二介添えは草履を片付ける。

◎受講中の態度

- ・講師の教えを聞き、メモを取る。
- ・見取りについては、基本的に正座は避けて、可能な限り椅子を使うこと。
- ・引かない時は私語を慎み、坐して静かに見取り（聞取り）稽古する。
（壁に寄り掛かったり腕組みはしない）
- ・講師以外から指導を受けたり質問することは、講師の先生に失礼です。
- ・指導を受けたら真摯な態度で素直に「はい」と返事をするように心がける。

◎矢取り

- ・立ちを組んだ時の矢取りは基本、引き終わった立の1番が一人で行く。
- ・射技指導の矢取りは、射場と十分に連絡を取り危険防止に気を付けて行うこと。
- ・的場へ出る時は、必ず射場に合図・確認を取り、必ず「赤旗・シグナル 等」を出す。
- ・矢を抜くときは、下座に蹲踞し1本ずつ丁寧に抜くこと。（纏め抜きはしない）
- ・矢を拭く時は、1本ずつ丁寧に拭く。（纏めて拭かない）持ち返る時は両手で持つ。

◎その他

- ・本来、介添えの指名は当日に発表されます。常に予習をしておきましょう。
- ・受講中に巻藁稽古（自分の判断で）はしない。（昼休みは可）
- ・講師との長話、一人占めはしない。講師は受講者に対して平等です。（質問は手短かに）
- ・講習会では、休憩時間であっても射場での練習は出来ません。（大会も同じ）
- ・教本や副読本をよく理解して、講習会で講師が困るような質問は控える。
（教本、副読本の疑問点は、事前に地元の先生に確認する）
- ・閉講式終了までは弓具等の片付けはしない。

▲欠席連絡

- ・都合で欠席する場合は、必ず講習担当理事に連絡すること。（所属団体長にも）無断欠席や当日欠席は受講料を徴収します。（前日までに連絡があれば徴収無し）